



レイヤ 3 EVPN およびレイヤ 3 VPN

この章では、レイヤ 3 EVPN を設定するタスクと、L3 EVPN および L3VPN ルータのステッチングについて説明します。構成を完了するには、次の作業を実行します。

- [インポートおよびエクスポート ルール用の VRF およびルート ターゲットの設定 \(1 ページ\)](#)
- [BGP EVPN およびラベル割り当てモードの設定 \(2 ページ\)](#)
- [BGP レイヤ 3 EVPN およびレイヤ 3 VPN ステッチングの構成 \(5 ページ\)](#)
- [レイヤー 3 EVPN およびレイヤー 3 VPN を有効にする機能の設定 \(8 ページ\)](#)
- [セグメント ルーティングを介した BGP L3 VPN の構成 \(9 ページ\)](#)
- [SRTE 経由 BGP レイヤ 3 VPN \(10 ページ\)](#)
- [SRTE を介したレイヤ 3 VPN の構成に関する注意事項と制限事項 \(11 ページ\)](#)
- [拡張コミュニティ カラーの構成 \(11 ページ\)](#)

インポートおよびエクスポート ルール用の VRF およびルート ターゲットの設定

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	vrf vrf-name	VPN ルーティングおよび転送 (VRF) インスタンスを定義し、VRF コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	rd auto	一意のルート識別子 (RD) を VRF に自動的に割り当てます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 4	address-family { ipv4 ipv6 } unicast	VRF インスタンス用に IPv4 または IPv6 アドレス ファミリを指定し、アドレス ファミリ コンフィギュレーション サブ モードを開始します。
ステップ 5	route-target import route-target-id	一致するルートターゲット値を持つ、L3 VPN BGP NLRI から VRF へのルートのインポートを設定します。
ステップ 6	route-target export route-target-id	VRF から L3VPN BGP NLRI へのルートのエクスポートを設定し、指定されたルートターゲット識別子を L3VPN BGP NLRI に割り当てます。
ステップ 7	route-target import route-target-id evpn	一致するルートターゲット値を持つ L3 EVPN BGP NLRI からのルートのインポートを設定します。
ステップ 8	route-target export route-target-id evpn	VRF から L3 EVPN BGP NLRI へのルートのエクスポートを設定し、指定されたルートターゲット識別子を BGP EVPN NLRI に割り当てます。

BGP EVPN およびラベル割り当てモードの設定

encapsulation mpls コマンドを使用して MPLS トンネル カプセル化を使用できます。EVPN アドレス ファミリのラベル割り当てモードを設定できます。NX-OS の IP ルート タイプの EVPN でのデフォルトのトンネル カプセル化は VXLAN です。

BGP EVPN を介した Cisco Nexus 9000 シリーズ スイッチからの (IP またはラベル) バインディングのアドバタイズにより、リモート スイッチはルーティングされたトラフィックをその IP に送信できます。その際、MPLS を介して IP をアドバタイズしたスイッチへの IP のラベルを使用します。

IP プレフィックス ルート (タイプ 5) は次のとおりです。

- MPLS カプセル化によるタイプ 5 ルート

```
RT-5 Route - IP Prefix

RD: L3 RD
IP Length: prefix length
IP address: IP (4 bytes)
Label1: BGP MPLS Label
Route Target
RT for IP-VRF
```

デフォルトのラベル割り当てモードは、MPLS 上のレイヤ 3 EVPN の VRF 単位です。

BGP EVPN とラベル割り当てモードを設定するには、次の手順を実行します。

始める前に

install feature-set mpls コマンドと **feature-set mpls** コマンドを使用して、MPLS 機能セットをインストールして有効にする必要があります。

MPLS セグメント ルーティング機能を有効にする必要があります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します
ステップ 2	[no] router bgp <i>autonomous-system-number</i> 例 : switch(config)# router bgp 64496 switch(config-router)#	BGP を有効にして、ローカル BGP スピーカに AS 番号を割り当てます。AS 番号は 16 ビット整数または 32 ビット整数にできます。上位 16 ビット 10 進数と下位 16 ビット 10 進数による xx.xx という形式です。 BGP プロセスおよび関連する設定を削除するには、このコマンドで no オプションを使用します。
ステップ 3	必須: address-family l2vpn evpn 例 : switch(config-router)# address-family l2vpn evpn switch(config-router-af)#	レイヤ 2 VPN EVPN のグローバル アドレスファミリー コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 4	必須: exit 例 : switch(config-router-af)# exit switch(config-router)#	グローバル アドレスファミリー コンフィギュレーション モードを終了します。
ステップ 5	neighbor ipv4-address remote-as <i>autonomous-system-number</i> 例 : switch(config-router)# neighbor 10.1.1.1 remote-as 64497 switch(config-router-neighbor)#	リモート BGP ピアの IPv4 アドレスおよび AS 番号を設定します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 6	address-family l2vpn evpn 例 : <pre>switch(config-router-neighbor)# address-family l2vpn evpn switch(config-router-neighbor-af)#</pre>	ラベル付きのレイヤ 2 VPN EVPN をアドバタイズします。
ステップ 7	encapsulation mpls 例 : <pre>router bgp 100 address-family l2vpn evpn neighbor NVE2 remote-as 100 address-family l2vpn evpn send-community extended encapsulation mpls vrf foo address-family ipv4 unicast advertise l2vpn evpn</pre> BGP セグメント ルーティング設定 : <pre>router bgp 100 address-family ipv4 unicast network 200.0.0.1/32 route-map label_index_pol_100 network 192.168.5.1/32 route-map label_index_pol_101 network 101.0.0.0/24 route-map label_index_pol_103 allocate-label all neighbor 192.168.5.6 remote-as 20 address-family ipv4 labeled-unicast send-community extended</pre>	BGP EVPN アドレス ファミリを有効にし、EVPN タイプ 5 ルート アップデートをネイバーに送信します。 (注) NX-OS の IP ルート タイプの EVPN でのデフォルトのトンネルカプセル化は VXLAN です。これをオーバーライドするために、MPLS トンネルのカプセル化を示す新しい CLI が導入されています。
ステップ 8	vrf <customer_name>	VRF を設定します。
ステップ 9	address-family ipv4 unicast	IPv4 アドレス ファミリに対応するグローバル アドレス ファミリ コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 10	advertise l2vpn evpn	レイヤ 2 VPN EVPN をアドバタイズします。
ステップ 11	redistribute direct route-map DIRECT_TO_BGP	直接接続されたルートを BGP-EVPN に再配布します。
ステップ 12	label-allocation-mode per-vrf	ラベル割り当てモードを VRF 単位に設定します。プレフィックス単位のラベル モードを設定する場合は、 no

	コマンドまたはアクション	目的
		label-allocation-mode per-vrf CLI コマンドを使用します。 EVPN アドレス ファミリの場合、デフォルトのラベル割り当ては VRF 単位です。一方、ラベル割り当て CLI がサポートされている他のアドレスファミリではプレフィックス単位モードです。実行コンフィギュレーションでは、CLI の no 形式は表示されません。

例

プレフィックス単位のラベル割り当ての設定については、次の例を参照してください。

```
router bgp 65000
  [address-family l2vpn evpn]
  neighbor 10.1.1.1
    remote-as 100
    address-family l2vpn evpn
    send-community extended
  neighbor 20.1.1.1
    remote-as 65000
    address-family l2vpn evpn
    encapsulation mpls
    send-community extended
  vrf customer1
    address-family ipv4 unicast
    advertise l2vpn evpn
    redistribute direct route-map DIRECT_TO_BGP
    no label-allocation-mode per-vrf
```

BGP レイヤ 3 EVPN およびレイヤ 3 VPN スティッチングの構成

同じルーターでスティッチングを構成するには、レイヤー 3 VPN ネイバー関係とルーター アドバタイズメントを構成します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 2	[no] router bgp <i>autonomous-system-number</i> 例 : <pre>switch# configure terminal switch(config)# router bgp 64496 switch(config-router)#</pre>	BGP を有効にして、ローカル BGP スピーカに AS 番号を割り当てます。AS 番号は 16 ビット整数または 32 ビット整数にできます。上位 16 ビット 10 進数と下位 16 ビット 10 進数による xx.xx という形式です。 BGP プロセスおよび関連する設定を削除するには、このコマンドで no オプションを使用します。
ステップ 3	address-family {vpnv4 vpnv6} unicast 例 : <pre>switch(config-router)# address-family vpnv4 unicast switch(config-router-af)# address-family vpnv6 unicast switch(config-router-af)#</pre>	レイヤ 3 VPNv4 または VPNv6 に対するグローバルアドレス ファミリ コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 4	exit 例 : <pre>switch(config-router-af)# exit switch(config-router)#</pre>	グローバルアドレスファミリ コンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 5	neighbor ipv4-address remote-as <i>autonomous-system-number</i> 例 : <pre>switch(config-router)# neighbor 20.1.1.1 remote-as 64498</pre>	リモート BGP L3VPN ピアの IPv4 アドレスおよび AS 番号を設定します。
ステップ 6	address-family {vpnv4 vpnv6} unicast 例 : <pre>switch(config-router)# address-family vpnv4 unicast switch(config-router-af)# address-family vpnv6 unicast switch(config-router-af)#</pre>	VPNv4 または VPNv6 のアドレスファミリのネイバーを設定します。
ステップ 7	send-community extended	BGP VPN アドレス ファミリを有効にします
ステップ 8	import l2vpn evpn reoriginate	標準のルートターゲット識別子と一致するルートターゲット識別子を持つレイヤ 3 BGPEVPN NLRI からのルーティング情報のインポートを設定し、このルーティング情報を、スティッチング ルートターゲット識別子に割り当てる

	コマンドまたはアクション	目的
		再発信の後に、BGP EVPN ネイバーへエクスポートします。
ステップ 9	neighbor ipv4-address remote-as autonomous-system-number 例 : <pre>switch(config-router)# neighbor 10.1.1.1 remote-as 64497 switch(config-router-neighbor)#</pre>	リモート レイヤ 3 EVPN BGP ピアの IPv4 アドレスおよび AS 番号を設定します。
ステップ 10	address-family {l2vpn evpn} 例 : <pre>switch(config-router-neighbor)# address-family l2vpn evpn switch(config-router-neighbor-af)#</pre>	レイヤ 3 EVPN のネイバー アドレス ファミリを設定します。
ステップ 11	import vpn unicast reoriginate	スティッチングルートターゲット識別子と一致するルートターゲット識別子を持つ BGPEVPNNLRI からのルーティング情報のインポートを有効にし、この再発信後のルーティング情報をレイヤ 3 VPN BGP ネイバーにエクスポートします。
ステップ 12	vrf <customer_name>	VRF を設定します。
ステップ 13	address-family ipv4 unicast	IPv4 アドレス ファミリに対応するグローバル アドレス ファミリ コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 14	advertise l2vpn evpn	レイヤ 2 VPN EVPN をアドバタイズします。

例

```
vrf context Customer1
  rd auto
  address-family ipv4 unicast
    route-target import 100:100
    route-target export 100:100
    route-target import 100:100 evpn
    route-target export 100:100 evpn

segment-routing
  mpls
    global-block 11000 20000
    connected-prefix-sid
      address-family ipv4 unicast
        200.0.0.1 index 101
!
```

```

int lo1
  ip address 200.0.0.1/32
!
interface e1/13
  description "MPLS interface towards Core"
  ip address 192.168.5.1/24
  mpls ip forwarding
  no shut

router bgp 100
  address-family ipv4 unicast
  allocate-label all
  address-family ipv6 unicast
  address-family l2vpn evpn
  address-family vpnv4 unicast
  address-family vpnv6 unicast
  neighbor 10.0.0.1 remote-as 200
    update-source loopback1
  address-family vpnv4 unicast
    send-community extended
  import l2vpn evpn reoriginate
  address-family vpnv6 unicast
    import l2vpn evpn reoriginate
    send-community extended
  neighbor 20.0.0.1 remote-as 300
    address-family l2vpn evpn
      send-community extended
    import vpn unicast reoriginate
  encapsulation mpls
  neighbor 192.168.5.6 remote-as 300
    address-family ipv4 labeled-unicast
  vrf Customer1
    address-family ipv4 unicast
      advertise l2vpn evpn
    address-family ipv6 unicast
      advertise l2vpn evpn

```

レイヤー 3 EVPN およびレイヤー 3 VPN を有効にする機能の設定

始める前に

VPN ファブリック ライセンスをインストールします。

feature interface-vlan コマンドが有効になっていることを確認してください。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	feature bgp	BGP 機能と構成を有効にします。
ステップ 2	install feature-set mpls	MPLS 構成コマンドを有効にします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	feature-set mpls	MPLS 構成コマンドを有効にします。
ステップ 4	feature mpls segment-routing	セグメント ルーティング構成コマンドを有効にします。
ステップ 5	feature mpls evpn	EVPN over MPLS 構成コマンドを有効にします。このコマンドは feature-nv CLI コマンドとは相互に排他的です。
ステップ 6	feature mpls l3vpn	EVPN over MPLS 構成コマンドを有効にします。このコマンドは feature-nv CLI コマンドとは相互に排他的です。

セグメント ルーティングを介した BGP L3 VPN の構成

始める前に

install feature-set mpls コマンドと **feature-set mpls** コマンドを使用して、MPLS 機能セットをインストールして有効にする必要があります。

MPLS セグメント ルーティング機能を有効にする必要があります。

feature mpls l3vpn コマンドを使用して、MPLS L3 VPN 機能を有効にする必要があります。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : switch# configure terminal switch(config)#	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します
ステップ 2	[no] router bgp autonomous-system-number 例 : switch(config)# router bgp 64496 switch(config-router)#	BGP を有効にして、ローカル BGP スピーカに AS 番号を割り当てます。AS 番号は 16 ビット整数または 32 ビット整数にできます。上位 16 ビット 10 進数と下位 16 ビット 10 進数による xx.xx という形式です。 BGP プロセスおよび関連する設定を削除するには、このコマンドで no オプションを使用します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	address-family {vpnv4 vpnv6} unicast 例 : switch(config-router)# address-family vpnv4 unicast switch(config-router-af)# address-family vpnv6 unicast switch(config-router-af)#	レイヤ 3 VPNv4 または VPNv6 に対するグローバルアドレス ファミリ コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 4	[no] allocate-label option-b	AS 間オプション b を無効にします
ステップ 5	必須: exit 例 : switch(config-router-af)# exit switch(config-router)#	グローバルアドレス ファミリ コンフィギュレーションモードを終了します。
ステップ 6	neighbor ipv4-address remote-as autonomous-system-number 例 : switch(config-router)# neighbor 20.1.1.1 remote-as 64498 switch(config-router-neighbor)#	リモート BGP L3VPN ピアの IPv4 アドレスおよび AS 番号を設定します。
ステップ 7	address-family {vpnv4 vpnv6} unicast 例 : switch(config-router-neighbor)# address-family vpnv4 unicast switch(config-router-neighbor-af)#	VPNv4 または VPNv6 のアドレスファミリのネイバーを設定します。
ステップ 8	send-community extended	BGP VPN アドレス ファミリを有効にします。
ステップ 9	vrf <customer_name>	VRF を設定します。
ステップ 10	allocate-index x	割り当てインデックスを設定します。
ステップ 11	address-family ipv4 unicast	IPv4 アドレス ファミリに対応するグローバルアドレス ファミリ コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 12	redistribute direct route-map DIRECT_TO_BGP	直接接続されたルートを BGP-L3VPN に再配布します。

SRTE 経由 BGP レイヤ 3 VPN

この機能により、データセンター相互接続 (DCI) /WAN エッジ展開のセグメントルーティング コアに対するトラフィック エンジニアリング機能が有効になります。DCI ハンドオフ (SR

に基づき VxLAN から L3VPN へ、またはその逆) を可能にし、SR コアで SRTE 機能を使用できるため、さまざまなトラフィック クラスによって SLA を達成できます。SRTE 機能は、L3VPN プレフィックスに SR-Policy を適用することにより、DCI またはエッジルータに適用できます。L3VPN プレフィックスは、拡張コミュニティ カラーを設定した後 (DCI またはエッジノードによって) アドバタイズでき、BGP L3VPN ネイバーは、そのカラーに基づいて SR ポリシーを適用して SRTE を作成できます。以下に、L3VPN プレフィックスで拡張コミュニティ カラーを構成するための構成を示します。

SRTE を介したレイヤ 3 VPN の構成に関する注意事項と制限事項

Cisco NX-OS リリース 10.1(2) 以降、セグメント ルーティング トラフィック エンジニアリング は、Cisco Nexus 9300-FX3、N9K-C9316D-GX、N9K-C93180YC-FX、N9K-C93240YC-FX2、および N9K-C9364C プラットフォーム スイッチ上でレイヤ 4 VPN を介してサポートされます。

この機能の制限は次のとおりです。

- アンダーレイ IPv6 はサポートされません。SRv6 は代替です。
- BGP の専用ファブリックにおける PCE の欠点のため、BGP アンダーレイを使用した PCE はサポートされていません。
- NXOS が BGP-LS で LSA をアドバタイズできないため、PCE を使用した OSPF-SRTE はサポートされていません。
- 合計 1000 の SRTE ポリシー スケール、BGP VPNv4 32K ルート、BGP VPNv6 32k ルート、および 1000 のアンダーレイ SR プレフィックスをサポートします。

Cisco NX-OS リリース 10.2(3)F 以降、カラー専用 (CO) ビットのオプションがルート マップに追加されています。SRTE ポリシーを使用している特定のプレフィックスの CO ビットの値が変更された場合、BGP は古いポリシーを削除し、新しいポリシーを追加します。

拡張コミュニティ カラーの構成

このセクションは、次のトピックで構成されています。

入力ノードにおける拡張コミュニティ カラーの構成

SRTE ポリシーがインスタンス化される入力ノードによってプレフィックスが通知されるときに、入力ノードで拡張コミュニティ カラーを構成するには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	route-map map-name 例 : <pre>switch(config)# route-map ABC switch(config-route-map)</pre>	ルート マップを作成するか、または既存のルート マップに対応するルート マップ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	set extcommunity color color-num 例 : <pre>switch(config-route-map)# set extcommunity color 20 switch(config-route-map)#</pre>	カラー拡張コミュニティの BGP 外部コミュニティ属性を設定します。
ステップ 4	exit 例 : <pre>switch(config-route-map)# exit switch(config)#</pre>	ルートマップ設定モードを終了します。
ステップ 5	[no] router bgp autonomous-system-number 例 : <pre>switch(config)# router bgp1 switch(config-router)#</pre>	BGP を有効にして、ローカル BGP スピーカに AS 番号を割り当てます。AS 番号は 16 ビット整数または 32 ビット整数にできます。上位 16 ビット 10 進数と下位 16 ビット 10 進数による xx.xx という形式です。 BGP プロセスおよび関連する設定を削除するには、このコマンドで no オプションを使用します。
ステップ 6	neighbor ip-address 例 : <pre>switch(config-router)# neighbor 209.165.201.1 switch(config-router-neighbor)#</pre>	BGP ネイバー テーブルまたはマルチプロトコル BGP ネイバー テーブルにエントリを追加します。 ip-address 引数には、ドット付き 10 進表記でネイバーの IP アドレスを指定します。
ステップ 7	address-family vpnv4/vpnv6 unicast 例 : <pre>switch(config-router-neighbor)# address-family vpnv4/vpnv6 unicast switch(config-router-neighbor-af)#</pre>	vpnv4/vpnv6 アドレスファミリタイプのルータ アドレスファミリ構成モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	route-map map-name in 例 : <pre>switch(config-router-neighbor-af) # route-map ABC in switch(config-router-neighbor-af) #</pre>	構成された BGP ポリシーを受信ルートに適用します。 マップ-名には最大 63 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

出力ノードでの拡張コミュニティ カラーの構成

プレフィックスが出力ノードによって通知されるときに、出力ノードで拡張コミュニティ カラーを構成するには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : <pre>switch# configure terminal switch(config) #</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	route-map map-name 例 : <pre>switch(config) # route-map ABC switch(config-route-map)</pre>	ルート マップを作成するか、または既存のルート マップに対応するルート マップ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 3	set extcommunity color color-num 例 : <pre>switch(config-route-map) # set extcommunity color 20 switch(config-route-map) #</pre>	カラー拡張コミュニティの BGP 外部コミュニティ属性を設定します。
ステップ 4	exit 例 : <pre>switch(config-route-map) # exit switch(config) #</pre>	ルートマップ設定モードを終了します。
ステップ 5	[no] router bgp autonomous-system-number 例 : <pre>switch(config) # router bgp1 switch(config-router) #</pre>	BGP を有効にして、ローカル BGP スピーカに AS 番号を割り当てます。AS 番号は 16 ビット整数または 32 ビット整数にできます。上位 16 ビット 10 進数と下位 16 ビット 10 進数による xx.xx という形式です。

	コマンドまたはアクション	目的
		BGP プロセスおよび関連する設定を削除するには、このコマンドで no オプションを使用します。
ステップ 6	neighbor ip-address 例 : <pre>switch(config-router)# neighbor 209.165.201.1 switch(config-router-neighbor)#</pre>	BGP ネイバー テーブルまたはマルチプロトコル BGP ネイバー テーブルにエントリを追加します。ip-address 引数には、ドット付き 10 進表記でネイバーの IP アドレスを指定します。
ステップ 7	address-family vpnv4/vpnv6 unicast 例 : <pre>switch(config-router-neighbor)# address-family vpnv4/vpnv6 unicast switch(config-router-neighbor-af)#</pre>	vpnv4/vpnv6 アドレスファミリータイプのルータ アドレスファミリー構成モードを開始します。
ステップ 8	route-map map-name out 例 : <pre>switch(config-router-neighbor-af)# route-map ABC out switch(config-router-neighbor-af)#</pre>	発信ルートに設定された BGP ポリシーを適用します。 マップ-名には最大 63 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。

出力ノードでのネットワーク/再配布コマンドの拡張コミュニティカラー構成

プレフィックスが出力ノードによって通知される時に、出力ノードで **network/redistribute** コマンドの拡張コミュニティ カラーを構成するには、次の手順を実行します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	configure terminal 例 : <pre>switch# configure terminal switch(config)#</pre>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	route-map map-name 例 : <pre>switch(config)# route-map ABC switch(config-route-map)</pre>	ルート マップを作成するか、または既存のルート マップに対応するルート マップ コンフィギュレーション モードを開始します。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 3	set extcommunity color color-num 例 : <pre>switch(config-route-map)# set extcommunity color 20 switch(config-route-map)#</pre>	カラー拡張コミュニティの BGP 外部コミュニティ属性を設定します。
ステップ 4	exit 例 : <pre>switch(config-route-map)# exit switch(config)#</pre>	ルートマップ設定モードを終了します。
ステップ 5	[no] router bgp autonomous-system-number 例 : <pre>switch(config)# router bgp1; switch(config-router)#</pre>	BGP を有効にして、ローカル BGP スピーカに AS 番号を割り当てます。AS 番号は 16 ビット整数または 32 ビット整数にできます。上位 16 ビット 10 進数と下位 16 ビット 10 進数による xx.xx という形式です。 BGP プロセスおよび関連する設定を削除するには、このコマンドで no オプションを使用します。
ステップ 6	vrf <customer_name>	VRF を設定します。
ステップ 7	address-family ipv4 unicast 例 : <pre>switch(config-router-vrf)# address-family ipv4 unicast switch(config-router-af)#</pre>	VRF インスタンスの IPv4 アドレス ファミリを指定し、アドレス ファミリ構成モードを開始します。
ステップ 8	redistribute static route-map map-name out 例 : <pre>switch(config-router-vrf-af)# redistribute static route-map ABC switch(config-router-af)#</pre>	スタティック ルートを BGP に再配布します。マップ-名には最大 63 文字の英数字を使用できます。大文字と小文字は区別されます。
ステップ 9	network ip-prefix [route-map map-name] 例 : <pre>switch(config-router-vrf-af)# network 1.1.1.1/32 route-map ABC switch(config-router-af-network)#</pre>	ネットワークを、この自律システムに対してローカルに設定し、BGP ルーティング テーブルに追加します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。